

市制
40周年
常滑

“ふるさと再発見 あしたそして、21世紀の明日へ”

写真で見る40年



発刊にあたって

昭和29年4月、常滑市が誕生して以来、本年で40年を迎えます。

この間、先輩諸賢、市民各位のご尽力により、幾多の困難を乗り越え、今日の常滑市へと発展してきました。

この私たちの常滑市は、今、国際化、情報化、高齢化など、社会環境の著しい変化の中で、また一つの重要な節目を迎えました。

中部新国際空港は、建設に向けて調査、構想が進められており、空港と一体的に発展していくためには、市民の幸せに結びつくまちづくりを念頭に、的確に対応する必要があります。

また、行政に対する要望も多種多様であり、生活環境整備のための公共下水道の推進、急速に進む高齢化社会への対応、快適な環境づくりのための緑化事業など、来るべき21世紀に向けたまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

ここに、常滑市の歴史を振り返るとともに、市政への理解と郷土常滑への関心を深めていただければ幸いに存じます。

常滑市長

石橋誠晃

目次

市勢	1
明治時代	2
大正時代	4
昭和時代(市制施行前)	8
昭和時代(市制施行後)	16
平成時代	38

常滑市

常滑市は、愛知県知多半島の西海岸中央部にあります。西は、伊勢湾に面して平たん地が続き、東は、半島の背骨ともいえる丘陵地帯になっています。

海岸沿いに市街地があり、伊勢湾は漁業に、平たん地は商工業に、そして丘陵地は農畜産業にと恵まれた地理的条件にあります。

古くから焼き物の産地として知られ、その歴史は平安末期から900年にも及びます。

市の生い立ち

本市は、昭和29年4月1日、常滑町・鬼崎町・西浦町・大野町および三和村の4町1村が合併して誕生しました。

その後、南部に隣接した小鈴谷町のうち、大谷・小鈴谷・広目および坂井の4地区が昭和32年3月31日に市域に加わり、現在の常滑市となりました。

広さ

面積 48.35km²

東西 6.1km 南北 15.0km

市街化区域 11.13km² 調整区域 37.22km²

世帯と人口

世帯 15,602世帯

人口 52,561人 男 25,700人 女 26,861人

(平成6年1月1日現在)





常滑町北条通り



土管置場

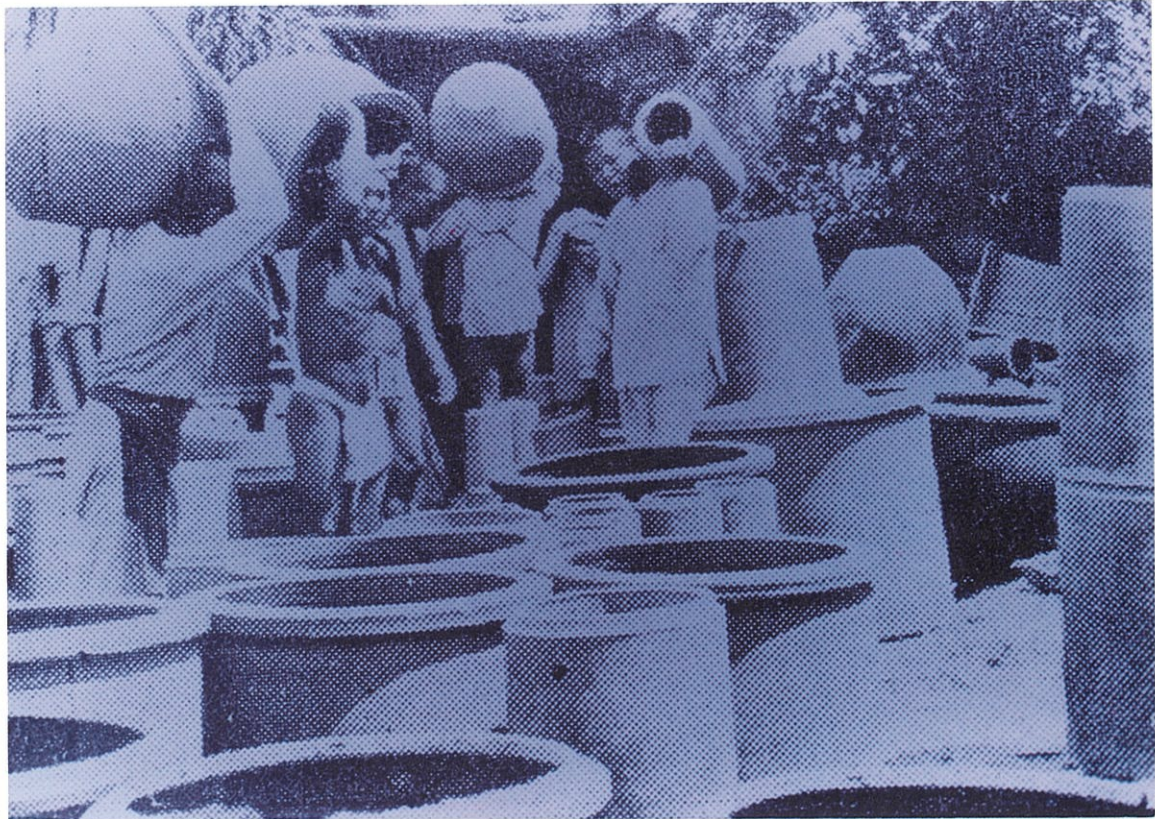


民家の庭にて

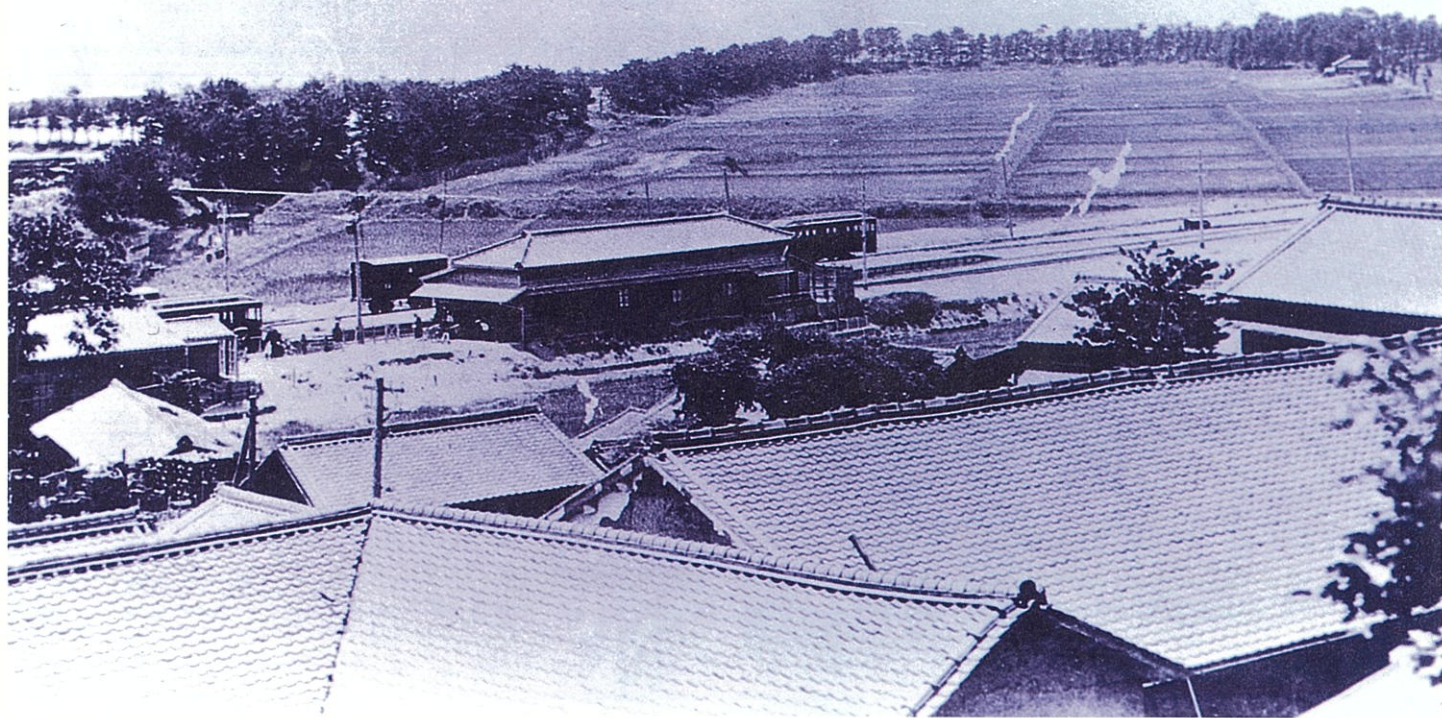


保示海岸

西 暦	年 月 日	項 目
1871	明治 4 年	額田県に属する
1872	5 年	愛知県に属する
1873	6 年 3 月 16 日	大野郵便役所が設置される (7 年 6 月 10 日、業務開始)
1877	10 年	名古屋警察署常滑分署がおかれる
1888	21 年	盛田命棋が「私立鈴溪義塾」を創設
1889	22 年 10 月 1 日	大野村が町制施行
1890	23 年 12 月 17 日	常滑村が町制施行
1893	26 年 3 月 16 日	尾張大野局で電信事務が開始
1896	29 年	常滑工業補習学校が創設される (33 年 4 月、常滑陶器学校になる)
1908	41 年 3 月 31 日	大野局に電話が開通 常滑町に巡査部長派出所が設置
1911	44 年 12 月 10 日	枳豆志村が西浦町になる
1912	45 年 2 月 2 月 18 日	大野・常滑・西浦地区に電灯がつく 伝馬町～大野町間に電車が開通



素焼窯の窯入れ



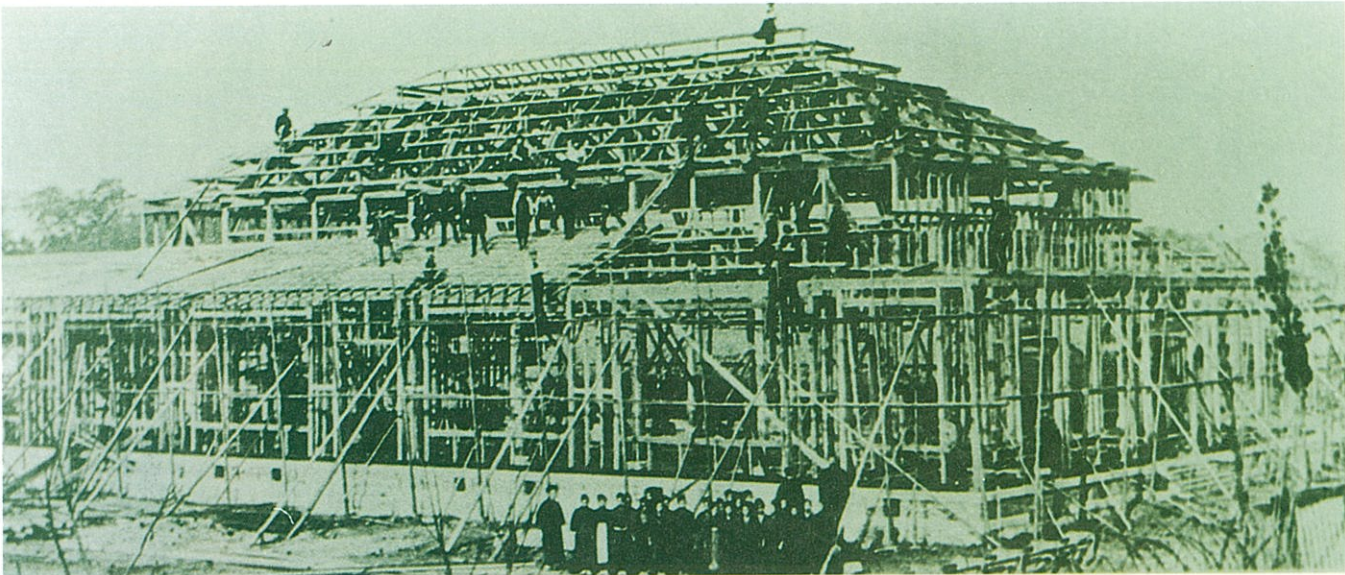
常滑駅を望む



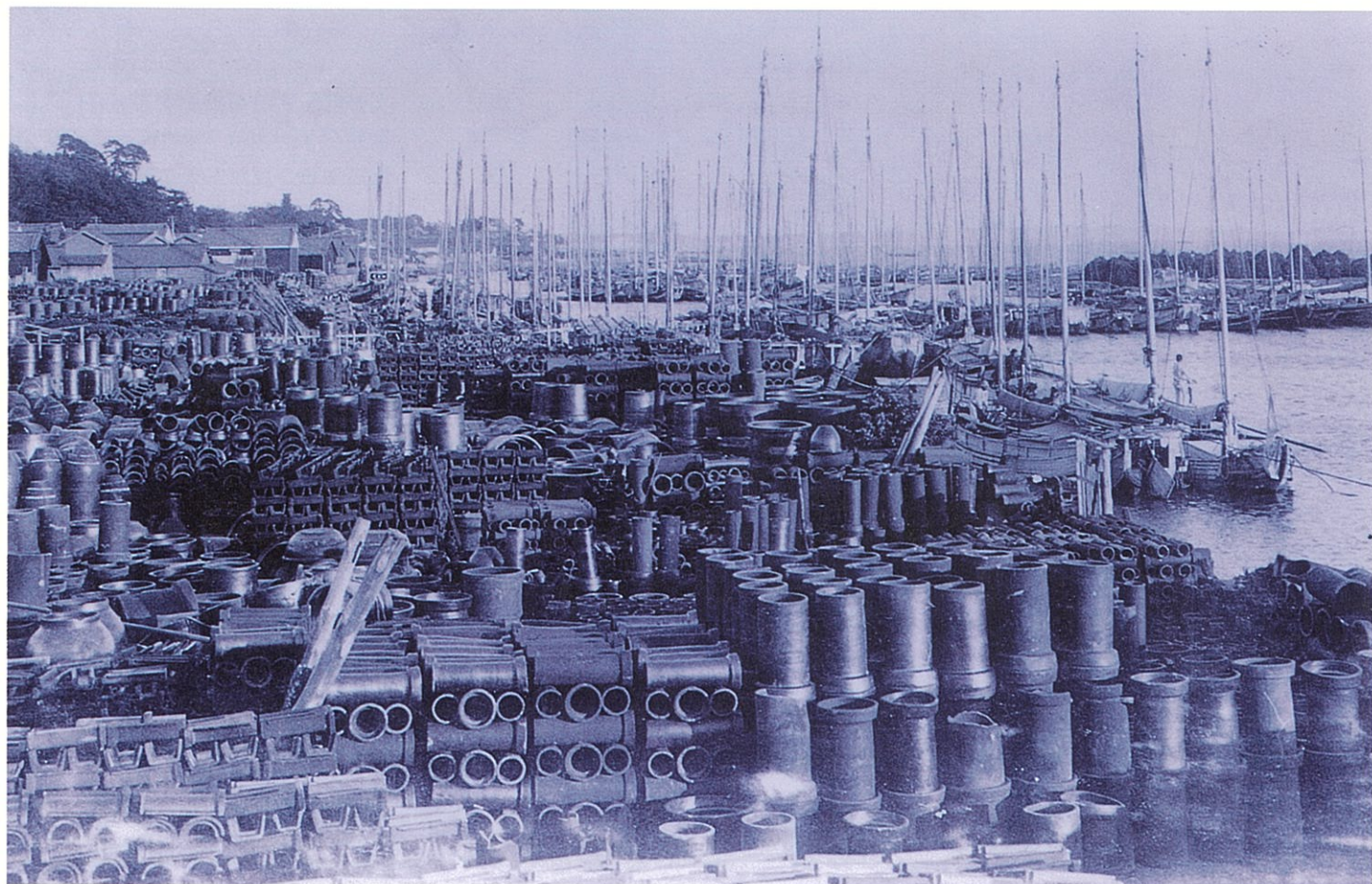
常滑駅付近

西 暦	年 月 日	項 目
1913	大正 2 年 3 月 29 日	大野町～常滑間に電車が開通
1918	7 年 7 月	定期バスが半田～常滑間を走る
1925	14 年	常滑陶器学校が県立になる (昭和10年、愛知県常滑工業学校と改称)

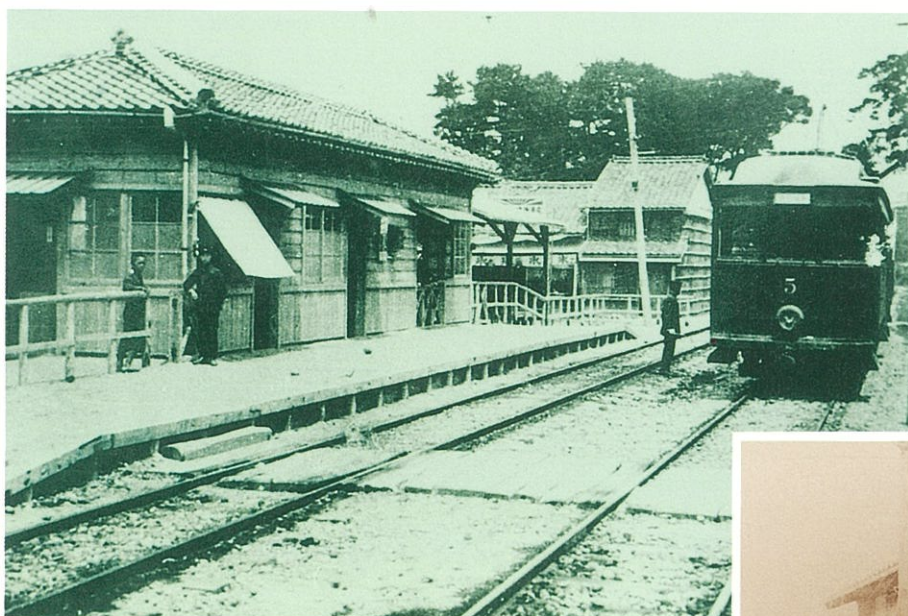
工事中の常滑小学校講堂



工事中の郡道といちき橋



常滑港



大野町駅

大野町にて





保示海岸潮干狩り



海月旅館海水浴場(常滑町)

昭和時代(市制施行前)



常滑町航空写真



矢田地区(昭和13年)



常滑駅から出征兵士を送る(昭和13年)



常滑町役場



常滑小学校



現在

西 暦	年 月 日	項 目
1930	昭和 5 年	常滑陶器館が建設される
1932	7 年	常滑港の大修築計画が立てられる (8年度から13年度まで工事)
1936	11年	常滑実科高等女学校が開校 (17年、愛知県常滑高等女学校と改称)
1944	19年12月 7 日	東南海地震が発生
1948	23年	学校給食が始まる (西浦南小学校) 常滑工業学校と常滑高等女学校が統合し、県立常滑高等学校となる
	10月 1 日	愛知用水開発期成会が結成
1950	25年 7 月10日	常滑～名古屋間に直通電車が開通
1951	26年10月17日	鬼崎村が町制施行
1952	27年 7 月 1 日	小鈴谷村が町制施行
1953	28年 7 月10日	常滑競艇を開催
	9 月25日	13号台風が来襲



常滑陶器館

榎戸公会堂より西方を望む

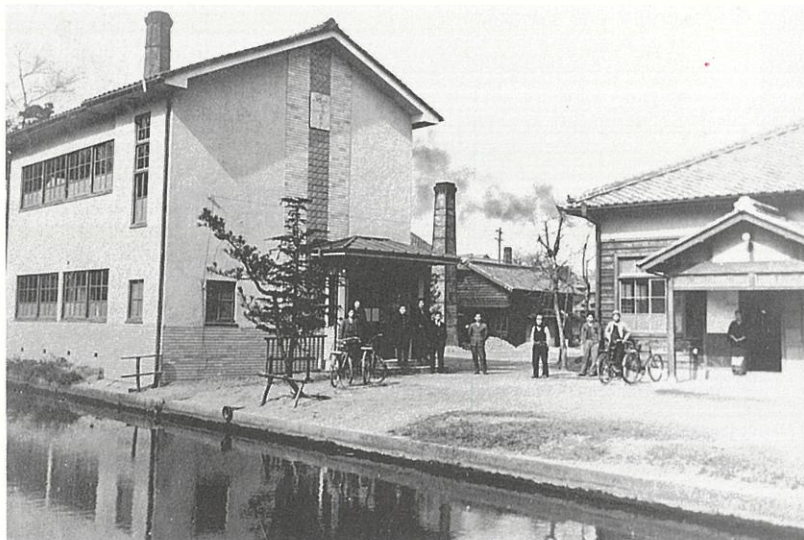




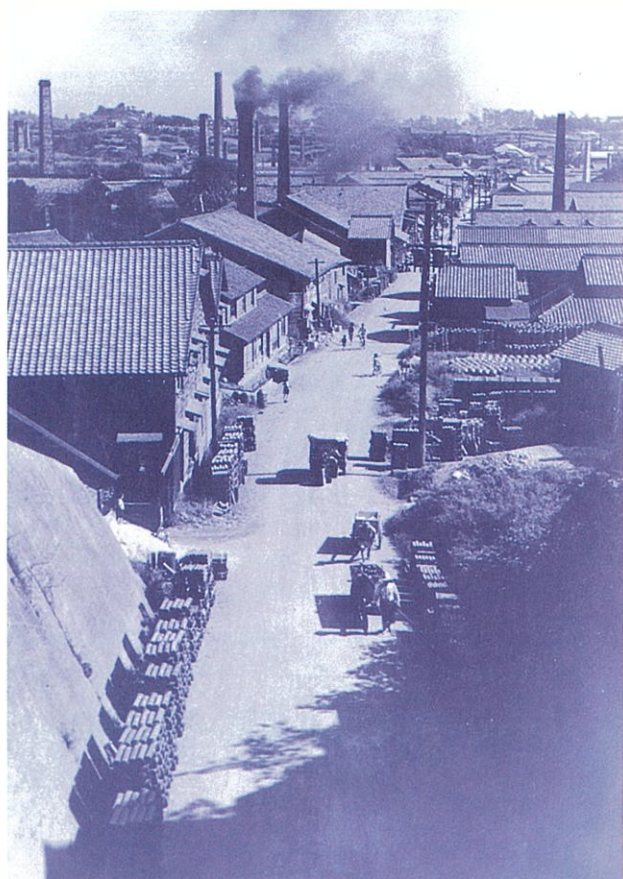
常滑町本町通り商店街



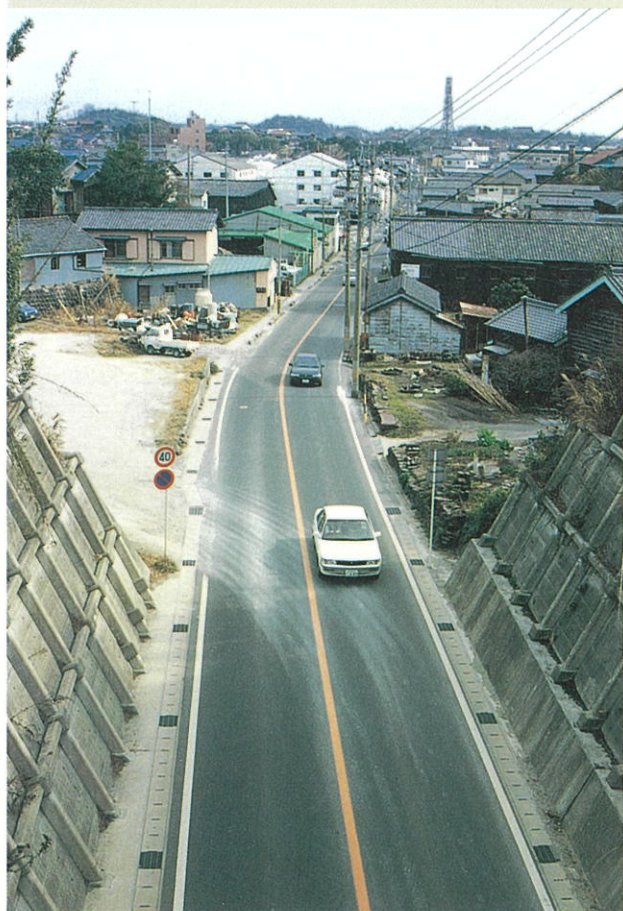
現在



愛知県常滑陶磁器工業試験場



常滑陶管工場



現在



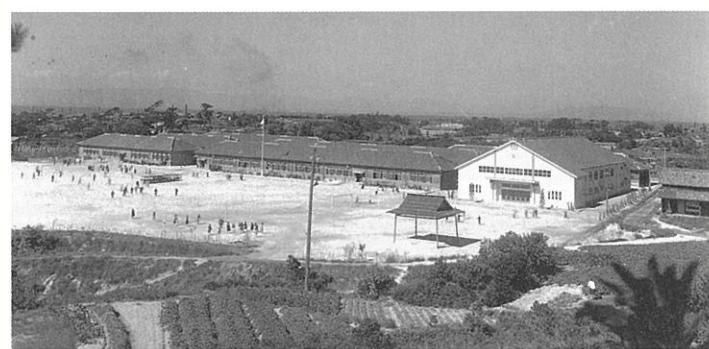
常滑駅



常滑映画劇場(常滑町)



晋明映画劇場(常滑町)



常滑中学校全景



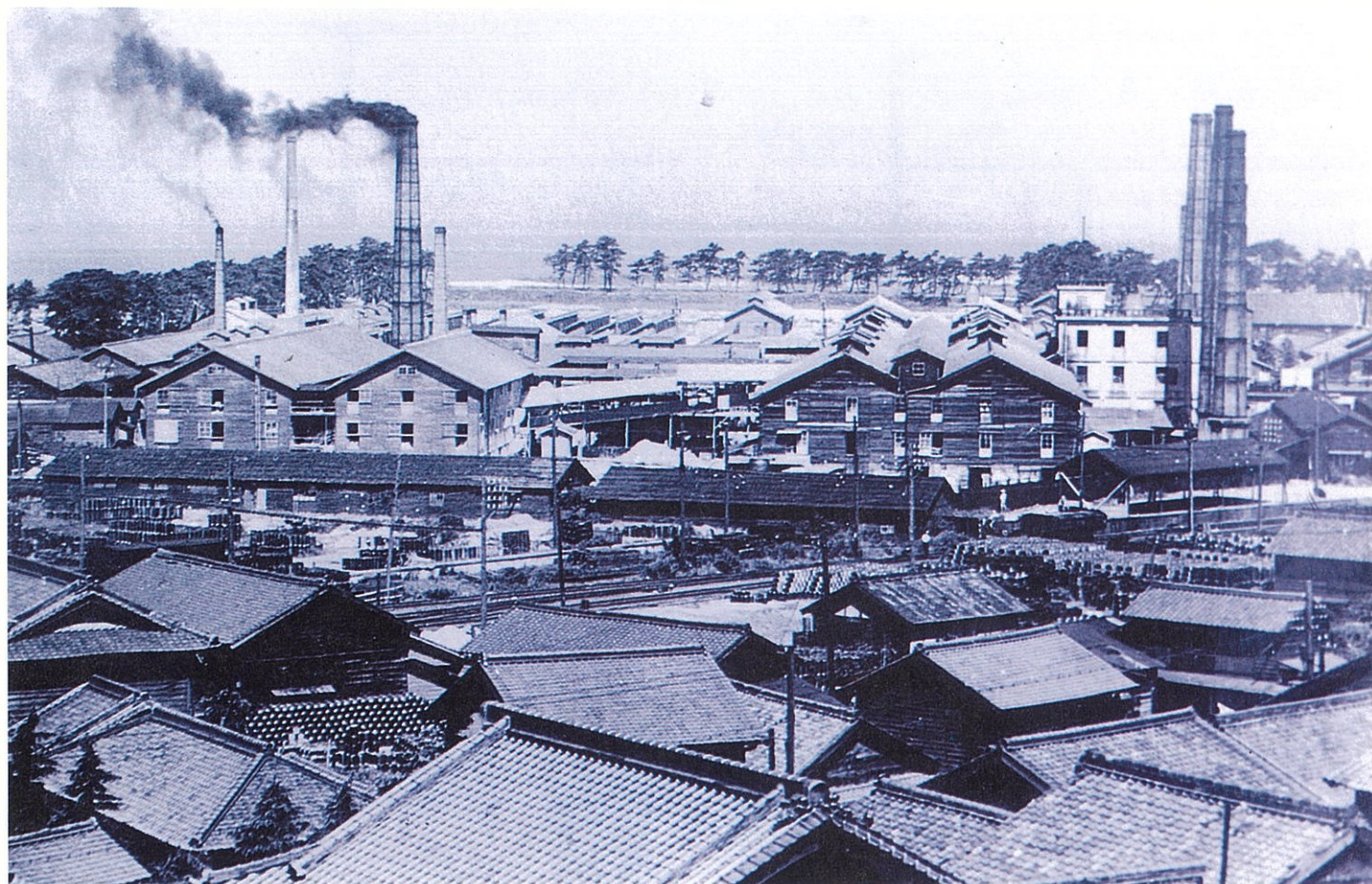
愛知県立常滑高等学校全景



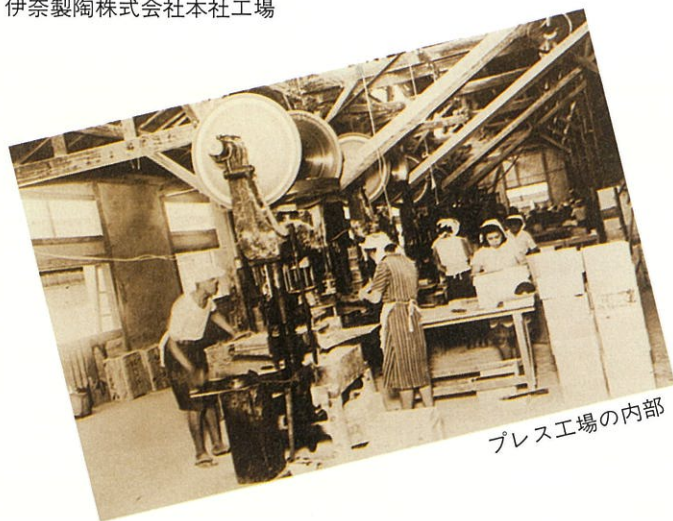
常滑港



現在



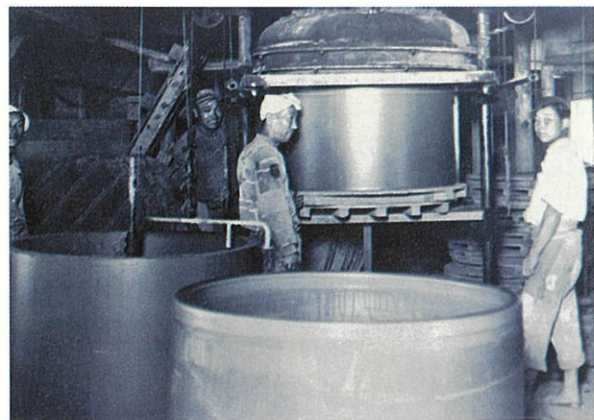
伊奈製陶株式会社本社工場



プレス工場の内部



愛知県知多西地区警察署常滑警部派出所



土管工場



常滑図書館



常滑町北保育園



樽水郵便局(西浦町)



常滑小学校



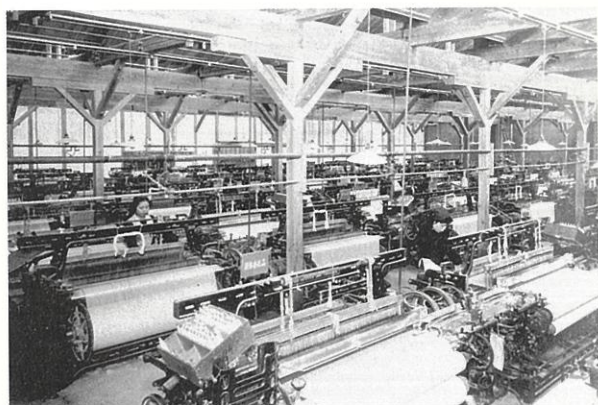
西浦北小学校



西浦町役場



西浦中学校



瀧田繊維工場織布部(西浦町)



西浦町古場



鬼崎町役場



大野町役場



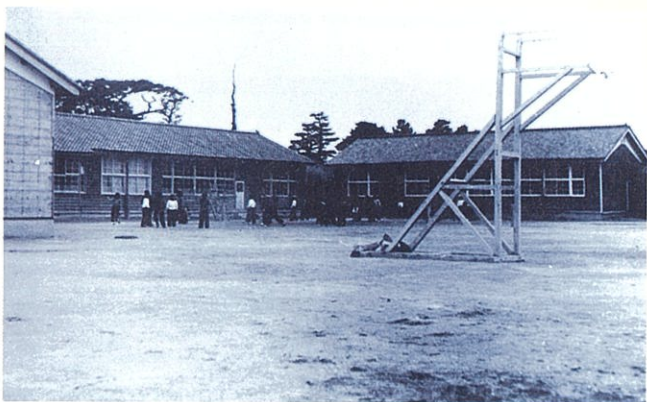
鬼崎南保育園



大野町駅



鬼崎中学校体育館



大野中学校



喜久乃世映画劇場(鬼崎町)



台風13号後の大野町(昭和28年9月)



大野海水浴場



大野町本町通り



現在

中之島劇場(大野町)



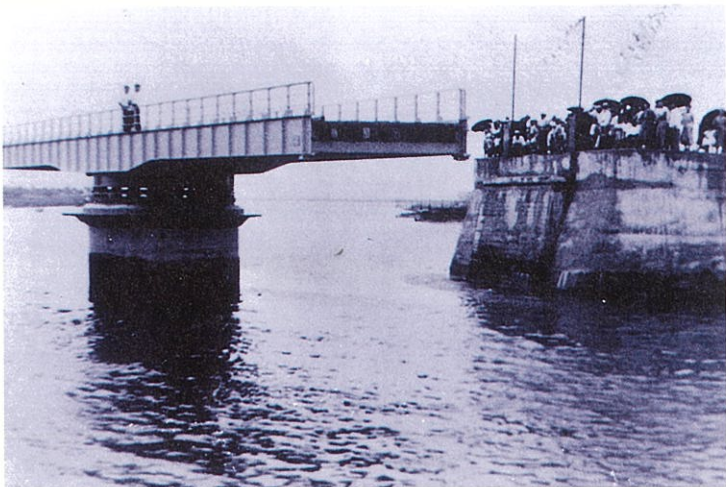
三和村小倉

市制施行への動き

昭和28年10月、「町村合併促進法」が施行されました。昭和29年3月3日、常滑・鬼崎・西浦・大野の4町と三和村で、4町1村合併促進協議会の第1回の会合が開かれました。次いで3月6日に、関係町村議会が一斉に召集され、それぞれ全員一致で合併を可決しました。

昭和29年4月1日、県下17番目の新生都市として常滑市が誕生しました。市制施行時の人口は42,979人、面積は41.67km²でした。

その後も常滑市は、隣接の町村に対して合併促進の呼びかけを続け、昭和32年3月31日、小鈴谷町のうち、大谷・小鈴谷・広目・坂井地区が常滑市に編入され、現在の市域ができあがりました。小鈴谷町の編入合併で、人口は49,800人に、面積は48.98km²となりました。



旋回橋「北条大橋」開通(昭和30年)



お多賀さん(刈屋・昭和31年)



第1回市民水泳大会(昭和32年)

西 暦	年 月 日	項 目
1954	昭和 29年 4 月 1 日	市制施行
	4 月 25 日	初代市長に伊奈長三郎氏が就任
1955	30年 3 月 27 日	二代市長に滝田次郎氏が就任
	6 月 1 日	市章を制定
1956	31年 4 月 1 日	各地区消防団が統合
	5 月 12 日	市観光協会を設立
	5 月 26 日	市防犯協会を結成
1957	32年 3 月 31 日	小鈴谷町の一部(大谷・小鈴谷・広日・坂井地区) が常滑市に合併
	9 月 1 日	国民健康保険事業を開始
1958	33年 1 月 15 日	全市統一成人式を開催
	9 月 1 日	三和、大野中学校を統合し、青海中学校を設立
1959	34年 3 月 27 日	三代市長に久田慶三氏が就任
	4 月 28 日	市民病院が完成 (5 月 1 日開院)
	9 月 26 日	伊勢湾台風で大被害
1960	35年 4 月 1 日	三和東、三和南小学校を統合し、三和小学校を設立。大野、三和西小学校を統合し、大野小学校を設立



常滑市報第1号(昭和29年)



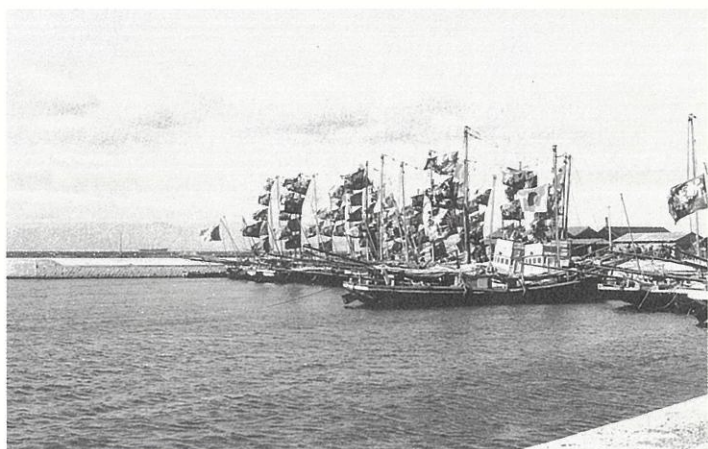
常滑競艇専用プール(昭和32年)



新消防車受け渡し式(第2分団・昭和32年)



常滑市ネオンアーチ(昭和32年)



鬼崎漁港完成(昭和32年)



市役所新館(昭和32年)

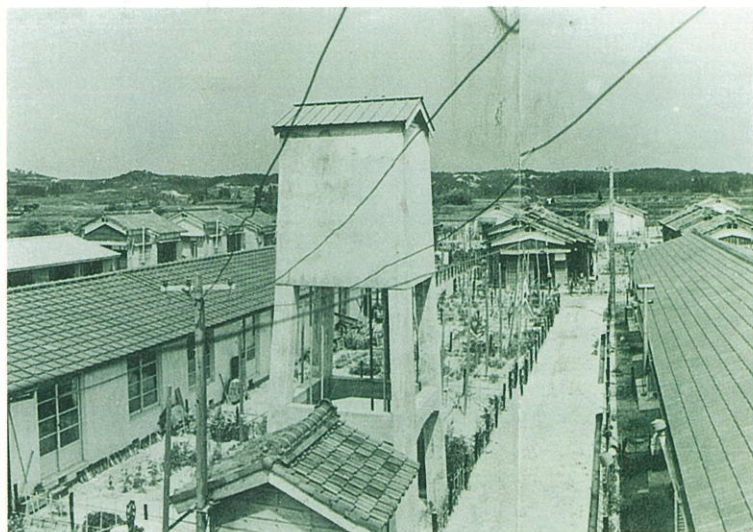


現在



小鈴谷町の一部が合併(昭和32年)

多屋市営住宅(昭和32年)



現在



鯉江新開公有水面埋立工事(昭和32年)



小倉伝染病隔離病舎(昭和32年)



杜辺採土現場(昭和32年)



初の全市統一成人式(昭和33年)



常滑港改修工事起工(昭和33年)



常滑の風景(昭和33年)



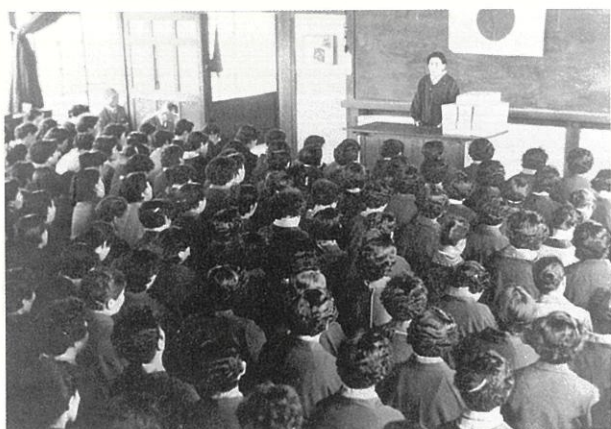
市民病院の建設に着手(昭和33年)



伊勢湾台風で大被害(昭和34年)



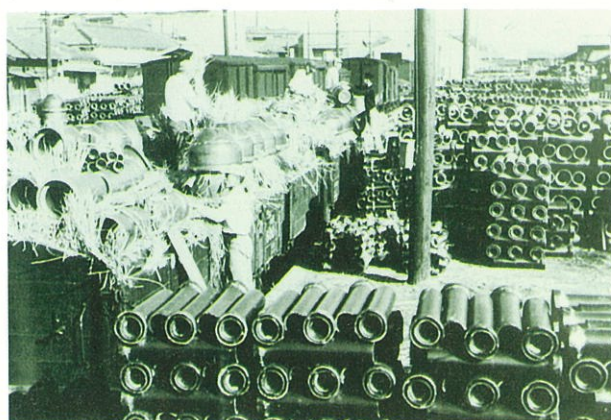
成人式(常滑中学校・昭和35年)



市婦人会連絡協議会総会(昭和35年)



蒲池漁港(昭和35年)



常滑駅(昭和35年)



防災用携帯拡声器(昭和35年)



防災訓練での非難訓練(保示・昭和35年)

鯉江新開公有水面埋立工事
(昭和36年)



保示・樽水公有水面埋立工事(昭和36年)



愛知用水が通水(昭和36年)



愛知県豚共進会(鬼中校庭・昭和36年)



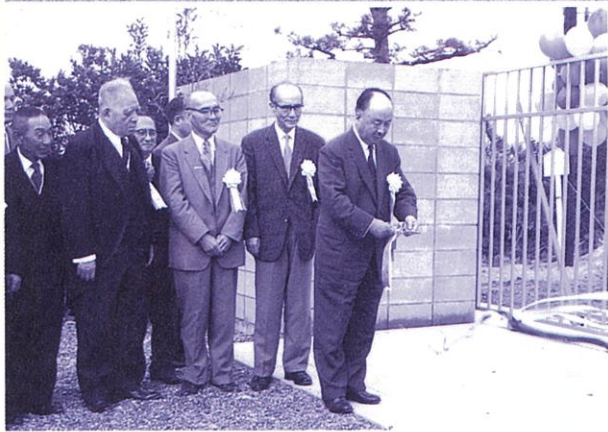
集中豪雨で被災(昭和36年)



大野海水浴場(昭和36年)



土管置場(昭和36年)



市立陶芸研究所完成(昭和36年)



久米浄水場完成(昭和36年)



第8回赤ちゃんコンクール(昭和37年)

西 暦	年 月 日	項 目
1961	昭和 36年 7 月 24 日	中部知多衛生組合が発足
	10月10日	市立陶芸研究所が完成
1962	37年 2 月 20 日	県営愛知用水上水道の給水を開始
	9 月 11 日	常滑武豊衛生組合が発足
	12月10日	中郷・鯉江新開公有水面埋立工事が完了
	12月20日	保示・樽水公有水面埋立工事が完了
1963	38年 4 月 1 日	西浦、小鈴谷中学校を統合し、南陵中学校を設立
	11月12日	常滑音頭、常滑小唄を発表
1964	39年10月 4 日	東京オリンピック聖火リレーに市民が参加
	11月 2 日	市制施行10周年記念式典
1965	40年 5 月 26 日	消防庁舎が完成
	10月21日	市内初の交通信号機が点灯 (市場三差路)
	11月18日	交通安全「子どもを守る会」が発足
1966	41年10月15日	市民体育会館が完成 (平成6年4月、市民アリーナと改称)
1967	42年 9 月 11 日	第1回常滑焼大見本市を開催
1968	43年11月 1 日	県常滑窯業技術センターが完成



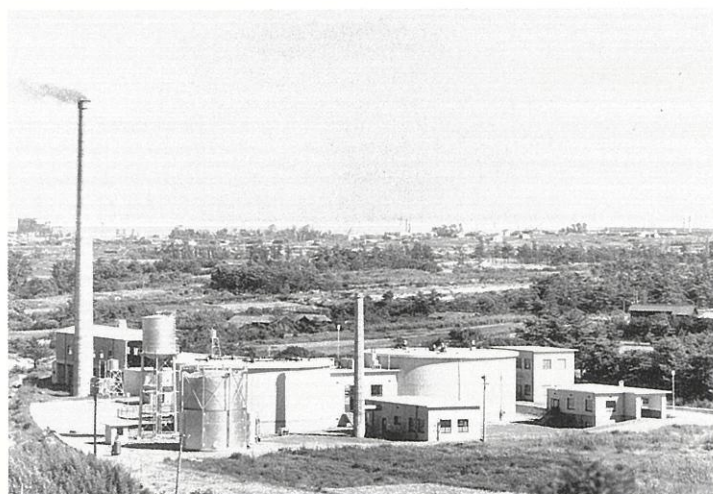
保示・樽水公有水面埋立工事完成(昭和37年)



市営プール完成(昭和37年)



常滑音頭、常滑小唄発表(昭和38年)



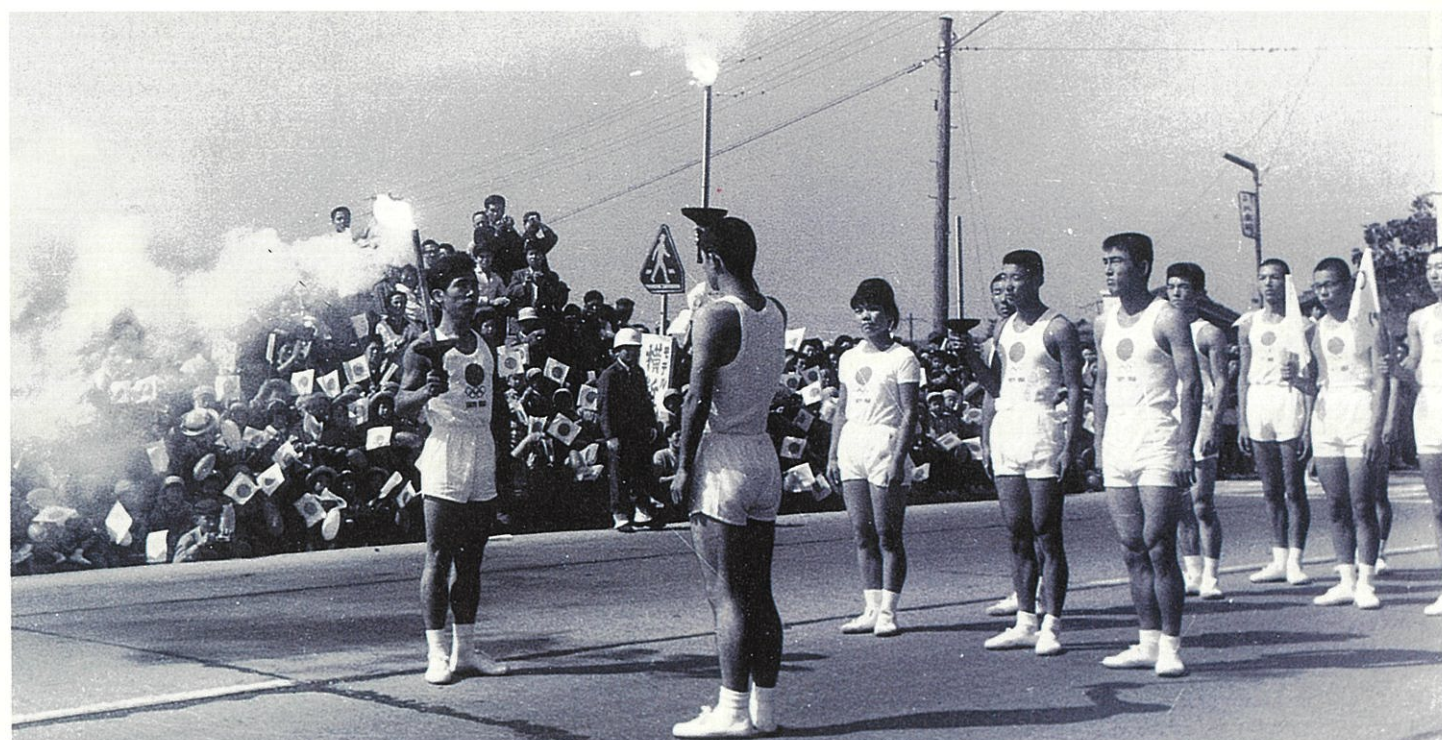
し尿処理場完成(昭和38年)



市制施行10周年記念式典(昭和39年)



市制施行10周年(昭和39年)



東京オリンピック聖火リレーに市民が参加(昭和39年)



常滑線に特急電車開通(昭和40年)



矢田川改修工事着工(昭和40年)



都市計画街路環状Ⅰ号完成(昭和40年)



消防庁舎完成(昭和40年)



市場三差路に市内初の交通信号機が点灯(昭和40年)



市民体育会館完成(昭和41年)



南陵中学校 3 期工事完成(昭和41年)



建設前の市役所周辺(昭和42年)



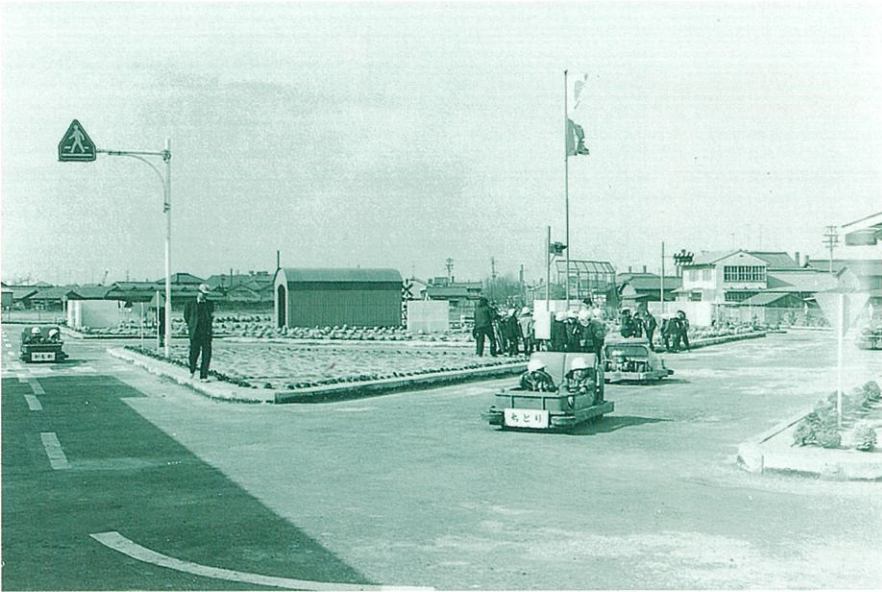
山方交差点に信号機が点灯(昭和41年)



口田交差点に信号機が点灯(昭和42年)



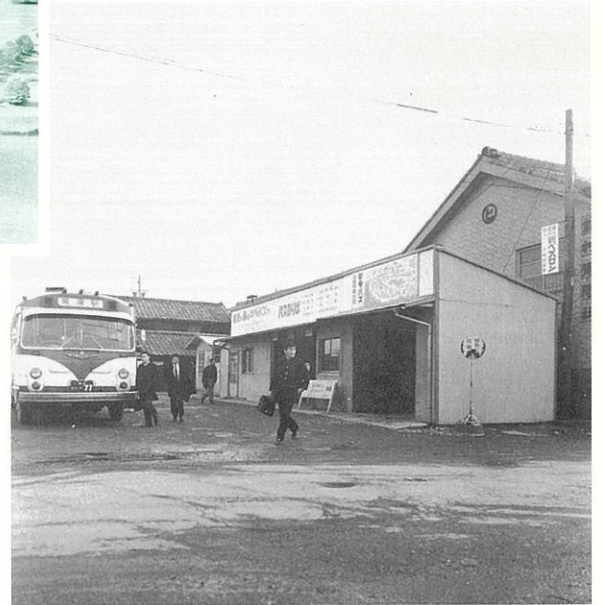
環状 2 号線奥条付近(昭和42年)



市交通安全センター完成(昭和43年)



県常滑窯業技術センター完成(昭和43年)



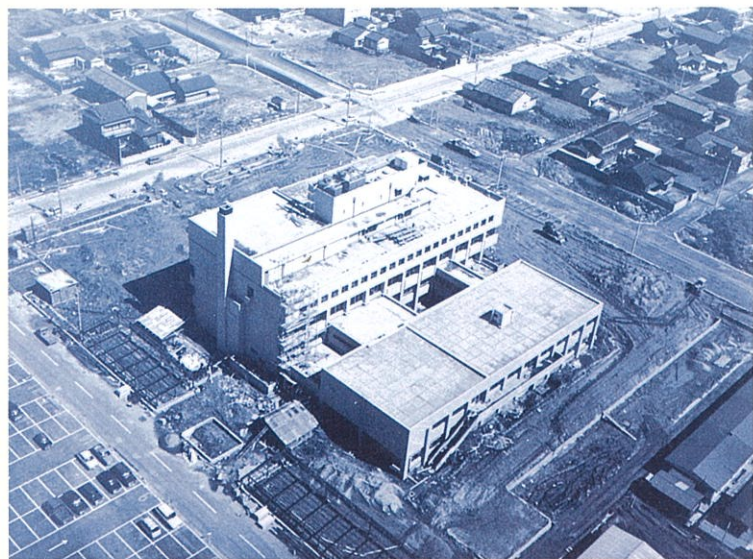
知多バス常滑駅(昭和43年)



環状1号線全線舗装(昭和43年)



市道臨港線にイチヨウ並木(昭和43年)



市庁舎完成(昭和44年)



北学校給食共同調理場業務開始(昭和44年)



街頭指導(昭和44年)



大阪万国博に参加した常滑焼(昭和45年)



市立図書館完成(昭和45年)



第4回常滑焼総合見本市(昭和45年)



陶磁器会館完成(昭和45年)



常西線街路事業完成(昭和46年)



移動図書館「あおぞら号」が巡回開始(昭和46年)



市立養護老人ホーム完成(昭和46年)



第1回市民盆踊りの夕べ(昭和46年)

西 暦	年 月 日	項 目
1969	昭和44年 4月16日	市庁舎が完成
1970	45年 3月15日	大阪万国博に常滑焼が参加
	10月 1日	市立図書館が完成
	10月14日	陶磁器会館が完成
1971	46年 3月31日	市立養護老人ホームが完成
	8月 5日	移動図書館「あおぞら号」が巡回を開始(63年 3月まで)
1972	47年 6月12日	名誉市民に伊奈長三郎氏を決定(11月 2日顕彰式典)
	7月 8日	パロリス国際陶芸展で常滑焼が名誉最高大賞を受賞(第3回ビエンナーレ)
	10月 6日	長三賞設定記念陶芸展を開催
1973	48年 4月 2日	常滑警察署、常滑商工会議所が発足
	5月 7日	農村基盤総合整備パイロット事業の工事着手
1974	49年 3月31日	市内の 6 農協が合併
	4月 5日	市制施行20周年記念式典
	7月25日	市の木「クロマツ」を発表
1975	50年 4月 5日	集中豪雨が市内を襲う
	8月 8日	県立常滑北高校が開校
	8月 8日	交通安全子ども自転車全国大会で市内の小学校が 2 年連続優勝
1976	51年 2月 1日	大野町・小倉・青海団地・西之口・蒲池地域に新町名地番を設定
	9月12日	17号台風の集中豪雨が市内を襲う
1977	52年 2月 1日	榎戸・多屋地域に新町名地番を設定
1978	53年 3月31日	市保健センターが完成
	8月 1日	旧常滑地域に新町名地番を設定
1979	54年 4月30日	四代市長に庭瀬健太郎氏が就任
	6月13日	名誉市民に久田慶三氏を決定(11月 2日顕彰式典)
	8月 1日	樽水・西阿野・熊野・古場・荻屋地域に新町名地番を設定
1980	55年 4月 4日	常滑小学校が常滑西、常滑東小学校に分割開校
	4月23日	市民俗資料館が完成
	10月 1日	市高齢者能力活用協会が発足



常滑商工会議所が発足(昭和48年)



第2回長三賞陶芸展(昭和48年)



集中豪雨が市内を襲う(小倉地区・昭和49年)



市制施行20周年記念式典(昭和49年)



交通安全子ども自転車全国大会優勝(昭和49年)



一般国道155号線バイパス開通(昭和49年)



名古屋法務局常滑出張所新庁舎完成(昭和52年)



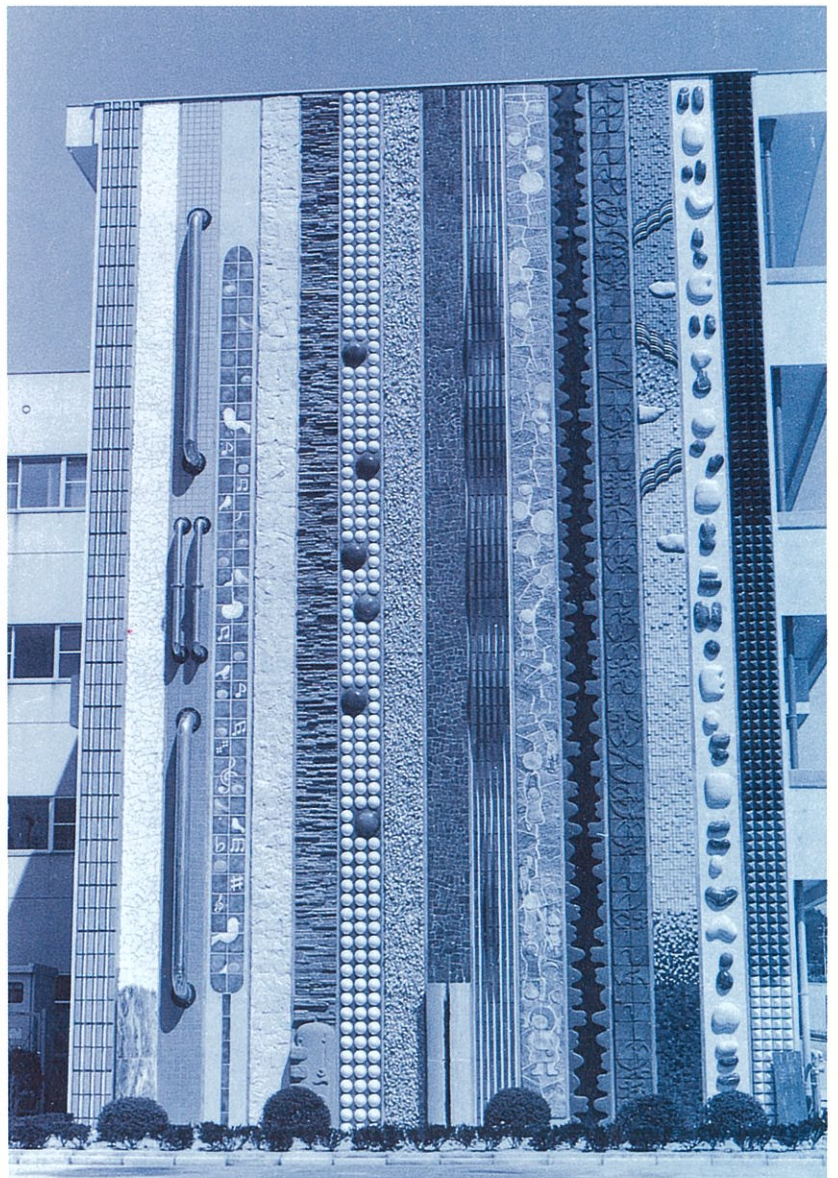
ミスとこなめ初登場(昭和52年)



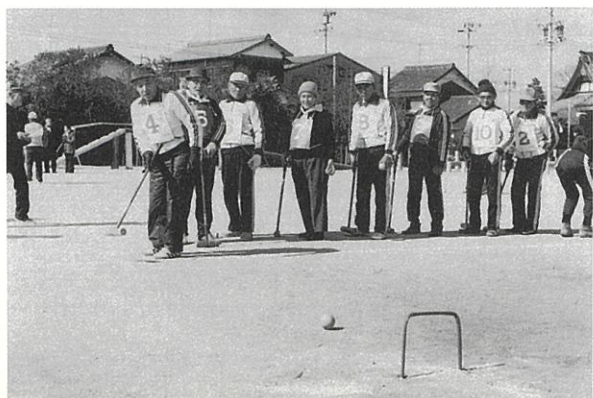
農業振興まつり(昭和54年)



市民病院開院20周年記念シンポジウム(昭和54年)



鬼崎南小学校大陶壁完成(昭和54年)



第1回市老人クラブゲートボール大会(昭和55年)



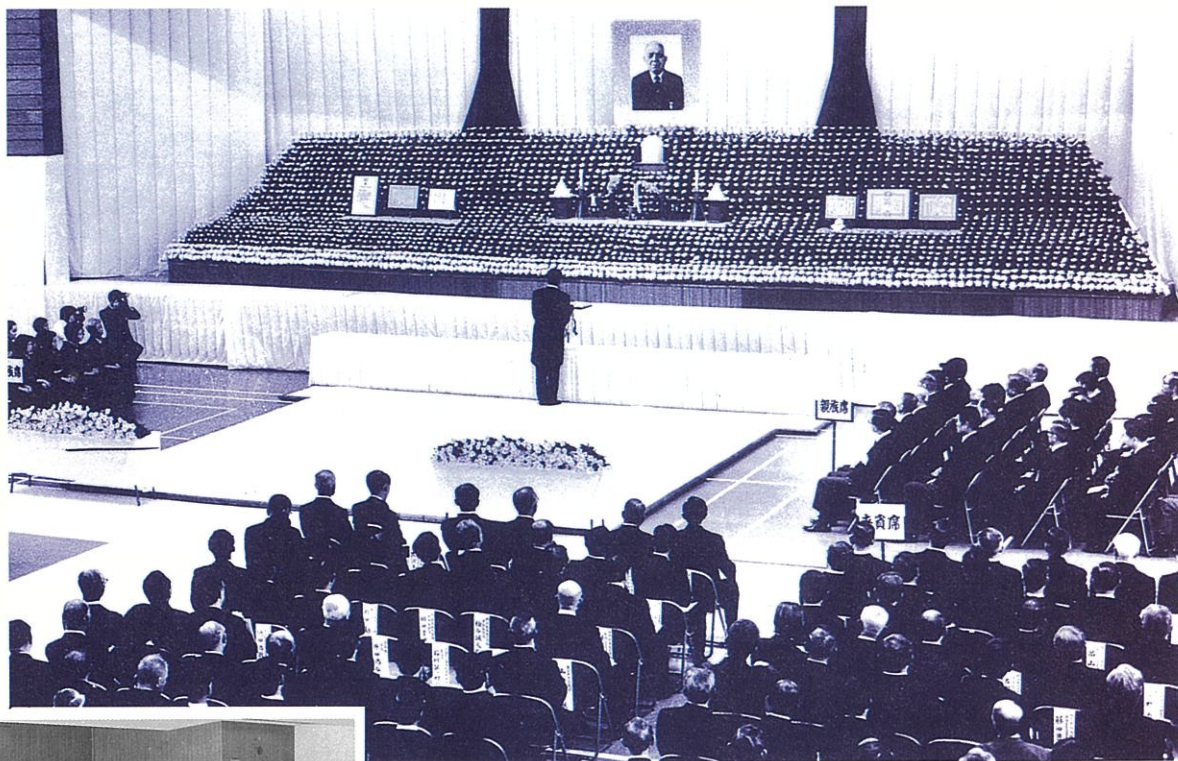
常滑小学校が常滑西、常滑東に分校(昭和55年)



城山公園展望台完成(昭和55年)



久米八幡社の飾り馬(昭和55年)



故伊奈長三郎氏の常滑市と伊奈製陶㈱合同葬(昭和55年)



市高齢者能力活用協会発足(昭和55年)



第1回福祉大会(昭和55年)



少年消防クラブ結成(昭和55年)



港の見える丘公園(昭和55年)



市民俗資料館完成(昭和55年)



北条向山線(昭和56年)



市グリーンスポーツセンターオープン(昭和56年)



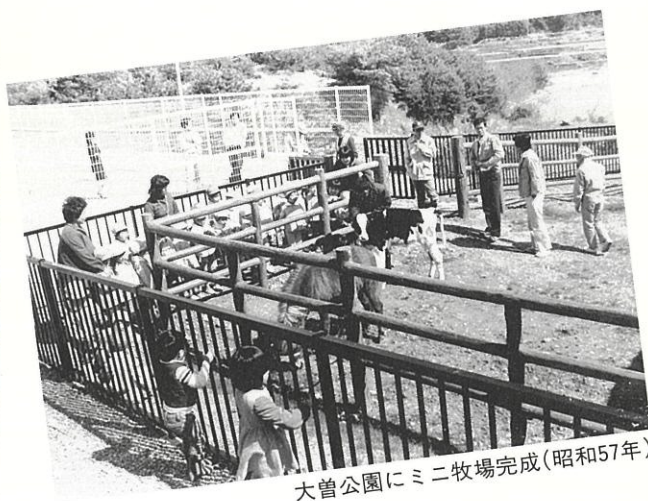
日本一の大皿完成(昭和56年)



南陵市民センター完成(昭和57年)



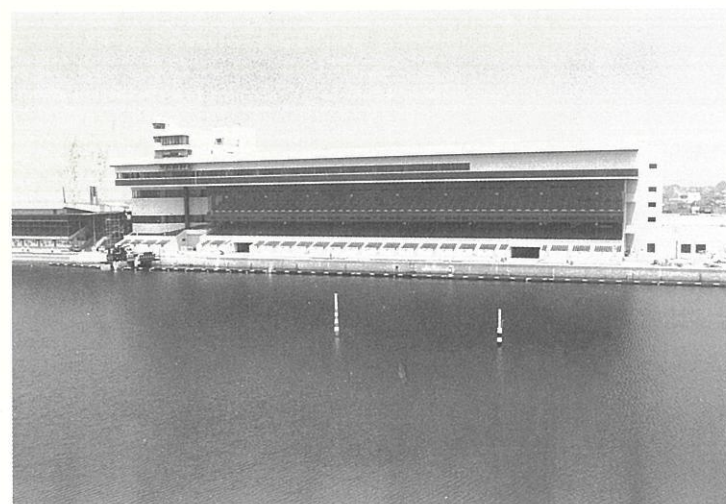
知多半島横断道路開通(昭和56年)



大曽公園にミニ牧場完成(昭和57年)



市民文化会館・中央公民館完成(昭和58年)



競艇場スタンド完成(昭和58年)

西 暦	年 月 日	項 目
1981	昭和 56年 2 月 7 日	市の花「サザンカ」を発表
	4 月 25 日	大曾公園内にグリーンスポーツセンターがオープン
1982	57年 3 月 27 日	南陵市民センターが完成
	4 月 21 日	登窯が国重要有形民俗文化財に指定
1983	58年 3 月 24 日	青海公民館が完成
	8 月 13 日	常滑競艇場の新スタンドが完成
	8 月 31 日	市民文化会館・中央公民館が完成 (11月 1 日オープン)
1984	59年 4 月 2 日	市制施行30周年記念式典
	7 月 1 日	市文化協会が発足
1985	60年 5 月 30 日	第3セクター方式で「常滑駅ビル株式会社」を設立
	6 月 3 日	市民病院で人工透析を開始
1986	61年 3 月 24 日	第二次市総合計画を決定
	3 月 31 日	久米工業団地 (19ha) が完成
1987	62年 1 月 1 日	5カ所の出張所を廃止し、3カ所の 連絡所 (青海・鬼崎・南陵) を開設
	4 月 30 日	五代市長に中村克巳氏が就任
	8 月 13 日	名誉市民に谷川徹三氏・岩田式夫氏・ 平岩外四氏・盛田昭夫氏を決定 (11月 3 日顕彰式典)
1988	63年 3 月 29 日	広目地区、坂井地区農業集落排水処 理場が完成
	3 月 30 日	鬼崎公民館が完成
	4 月 1 日	図書館電算システムを導入
	7 月 19 日	市中部新国際空港推進連絡協議会が 発足 (市・市議会・商工会議所)



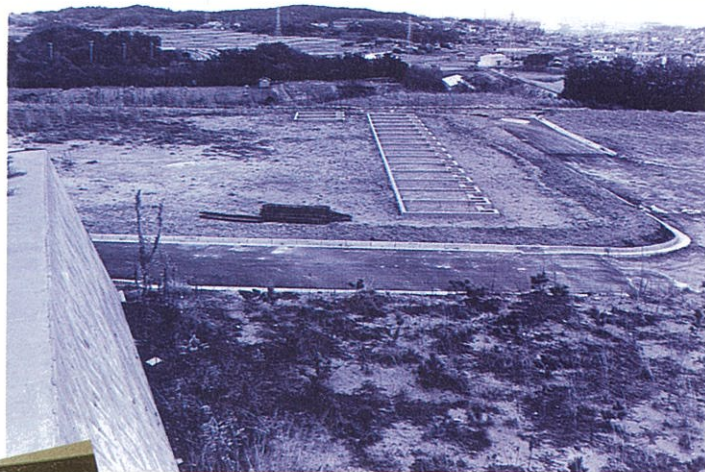
市制施行30周年記念式典(昭和59年)



雪景色の常滑
(昭和59年)



前山ダムの本堤工事(昭和60年)



高坂墓園(昭和60年)

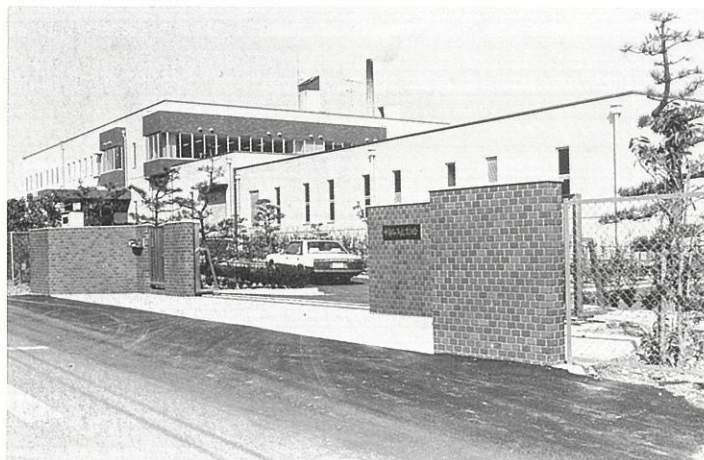


第1回 IWCAT 歓迎パーティー
(昭和60年)



国際平和年記念事業パートI「愛と平和を考える」
(昭和61年)

中部知多衛生組合のし尿処理施設完成(昭和61年)



久米工業団地完成(昭和61年)



多屋海岸に花壇の擁護壁完成(昭和63年)



鬼崎公民館完成(昭和63年)



名誉市民に谷川徹三氏・岩田式夫氏・平岩外四氏・盛田昭夫氏を決定(昭和62年)



駅ビルオープン
(昭和62年)



農免道路三崎西部線開通(平成元年)



歩こまいとこなめ(平成元年)



世界デザイン博覧会に陶製巨大モニュメント「フューチャードリーム」出展(平成元年)



谷川徹三文庫開設(平成2年)



フューチャードリーム駅前広場に設置(平成2年)



南陵新体育館完成(平成2年)



常滑武豊衛生組合「クリーンセンター常武」完成(平成2年)



半田常滑インターチェンジ新設(平成3年)



国道247号線バイパス開通(平成3年)

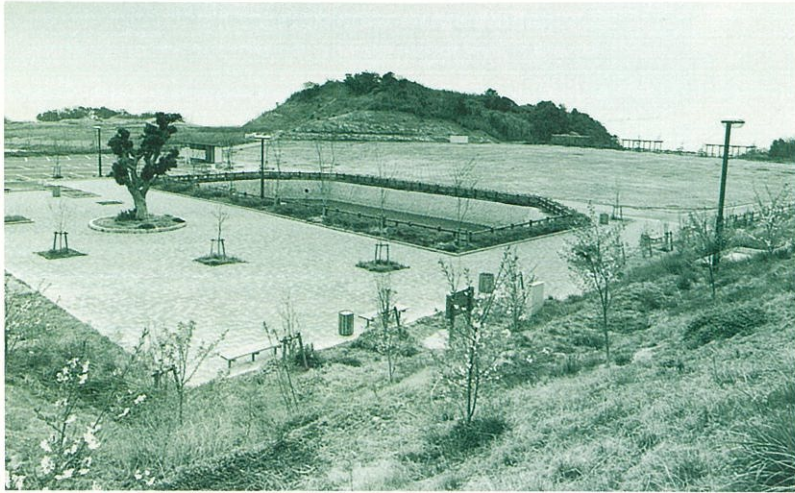


特別養護老人ホーム「むらさき野苑」完成(平成3年)



有線テレビ(CATV)とこなめニューテレビ開局(平成3年)

西 暦	年 月 日	項 目
1989	平成 元年 3 月 29 日	常滑武豊衛生組合に粗大ごみ処理施設が完成
	7 月 15 日	世界デザイン博覧会に陶製巨大モニュメント「フューチャードリーム」出展 (11月26日まで)
1990	2 年 2 月 28 日	南陵新体育館が完成 (6 年 4 月、サザンアリーナと改称)
	3 月 29 日	常滑武豊衛生組合に焼却処理施設が完成し、「クリーンセンター常武」としてスタート
1991	3 年 3 月 20 日	市一般廃棄物最終処分場が完成
	4 月 19 日	常滑港港湾区域内公有水面埋立事業の埋立許可
	7 月 1 日	デイサービスセンターがオープン
	10 月 1 日	有線テレビ (CATV) とこなめニューテレビが開局
1992	12 月 2 日	六代市長に石橋誠晃氏が就任
	4 年 7 月 30 日	「中部新国際空港に関する市民意識調査」を実施
	11 月 21 日	新空港説明会開催 (12月5日まで、市内4会場)
1993	5 年 2 月 19 日	競艇場大型映像装置、対岸総合表示盤を設置
	2 月 25 日	常滑公共下水道を都市計画決定
	3 月 3 日	こなめ焼却団地「セラモール」がオープン
	3 月 17 日	競艇場競走水面拡幅工事が完了
	3 月 25 日	市体育館が完成
	4 月 1 日	市厚生事業団を設立
		知多地区5農協 (常滑市・半田市・武豊町・美浜町・南知多町) が合併し、知多農協となる
	4 月 27 日	小脇公園がオープン (坂井)
	7 月 1 日	大曾更生園、梶間授産所がオープン
	11 月 13 日	第49回国民体育大会リハーサル大会 「全日本大学レスリング選手権大会」を開催
	12 月 5 日	中部新国際空港に係る実機飛行調査実施
1994	6 年 4 月 1 日	市制40周年記念式典



小脇公園オープン(平成 5 年)



桧原公園東広場完成(平成 4 年)



市体育館完成(平成 5 年)



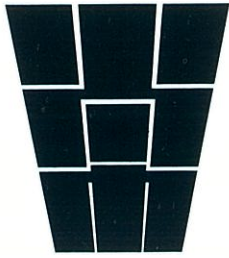
とこなめ焼酎団地「セラモール」オープン(平成 5 年)



常滑港港湾区域内公有水面埋立工事(平成 5 年)



中部新国際空港に係る実機飛行調査実施(平成 5 年)



市 章

常滑市の「常」の字を、画家の杉本健吉氏が図案化したもので、市民の団結と市勢の発展が表わされています。

(昭和30年6月制定)

市の木 クロマツ

みどりを育て、みどりを守り、みどり豊かな住みよい都市づくりのために、昭和49年3月、市制20周年を記念して、市の木に「クロマツ」が選定されました。



市の花 サザンカ

緑と花のある美しいまちづくりのために、全家庭を対象のアンケート調査の結果、昭和56年2月、市の花に「サザンカ」が選定されました。





愛知県常滑市

〒479 愛知県常滑市新開町4-1 ☎0569-35-5111